

評価から訓練までが繋がるフローチャートで説明する構音障害セミナー

構音障害の評価は、音の評価だけでは不十分です。その音からどのような構音運動パターンが起こっているのかまでを把握しなければなりません。

患者さんから発せられる言葉をいかに正確に聴き取るか……

その言葉からどんな問題を抽出するのか……

その問題をどうやって解決していくのか……

「音声学」×「音響学」×「運動学」の視点を掛け合わせる事で

より正確な評価とアプローチが出来るようになります。

このセミナーでは、STの「聴く力」をレベルアップし、患者さんの「音」から「運動」を予測して、アプローチにつなげる力『臨床力』を高めます。

一つの歪み音であっても、それを引き起こしている構音運動パターンは多岐にわたります。

歪み音の評価ももちろん重要ですが、誤った構音運動パターンを正確に評価しアプローチしないとなかなか正確な構音運動への修正は難しくなります。

そこで歪み音からどのような誤った構音運動パターンがあるのか？それに対しどのようなアプローチを行うのが良いのか？を分かりやすくフローチャートにまとめて説明します。

『聴く』練習から、『運動パターン』の弁別練習、『アプローチ』の繋げ方まで、じっくり構音障害について学ぶ2日間になっています。

また、通常のセミナーのような講師が話し、受講生がただ聞いて終わる形式ではなく、『アクティブラーニング型セミナー』となっています。

受講生の皆さんが講義内容をインプットするだけでなく、ディスカッションという形式でアウトプットを行います。それぞれが意見を述べ合う事で理解が深まり、次の日から臨床で使えるようになるセミナーです。

答えを考えるのは皆さんです！

皆様のご参加お待ちしております！！

※内容はHPをご覧ください。